

災害伝言ダイヤルを活用した安否訓練



土のうを作る水防訓練



防災訓練

8月31日(日)
午前9時～



場 各自治会の訓練場所などは回覧をご覧ください 問 総務課安全防災交通係 ☎(288)1212

自分たちの地域は 自分たちで守る！

東日本大震災では、地域のそれぞれの自治会において、日ごろから地域の安全のために「自主防災組織」を中心に防災訓練をはじめとした、さまざまな取り組みを行っていたことにより、発生直後には、住民同士による助け合いによって多くの命が救われました。

今年度は「自らの命は自分で守る」、「自分たちの地域は自分たちで守る」といった自助・共助による地域防災力の向上に向け、各地域での防災訓練を実施します。

今回も、自主防災組織を中心に第一次避難場所に集合した後、各地域の第二次避難場所において初期消火訓練などを実施します。

地震はいつ起きるかわかりません。皆さん積極的に参加し、防災に対する知識や技術を身につけ、日ごろから災害に備えておきましょう。

普段使いで カンタン備蓄

食品の備蓄は万全ですか？ 災害時には物流が止まり、食品が手に入りにくくなります。最低でも3日分、できれば1週間分の食品を家庭で備蓄しておくことが大切です。

賞味期限を気にすることが大変という方には、普段食べているものを消費しながらストックする「ローリングストック法」がおすすめです。

ローリングストック法では、

- 1 普段食べている食材を多めに買って備える
- 2 普段の食事で食べる
- 3 食べたらいよいよ足して補充する

これらを繰り返すことで、一定量の食品が備蓄されている状態を保つことができます。

また、アウトドアでも使える食品もありますので、ローリングストック法を日常生活の一部に取り入れてみましょう。

「ハザードマップ」を確認

「ハザードマップ」は、過去に発生した災害の被害状況をもとに、地震や台風、洪水、崖崩れ、土石流などの自然災害における被害発生状況を予測し、河川が氾濫した場合に浸水が予測される地域、土砂災害の発生する危険性のある地区（土砂災害危険箇所・土砂災害警戒区域など）を示しています。

自宅周辺や通勤・通学路の危険箇所を把握しておくことで、早めに避難行動をとることができます。

避難時に安全なルートでの経路を確認しておくことも大切です。

家族、親戚や近所の方々と事前に確認しておきましょう。



清川村
土砂災害・洪水
ハザードマップ

水消火器を使用した初期消火訓練



消火栓を使用した初期消火訓練



防災訓練当日、緊急地震速報の訓練放送を行います。各ご家庭で、身を守るための安全行動を実施してください。

※実際の災害と間違えないようご注意ください。



提供 効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議

かながわ
シェイクアウト
防災訓練と同日実施

災害時は、全国から被災地への電話がつながりにくなります。災害用伝言ダイヤルは、被災住民の皆さんの安否を伝える声の伝言板です。もしものために、覚えておきましょう。



訓練では「安否確認訓練」
災害用伝言ダイヤル
として実施

備えよう！「非常持ち出し品」

表を参考に必要なものをそろえ、リュックサックなどに入れて、家族の皆さんが分かる場所に保管しましょう

☐ 水	☐ 食品(最低3日分)	☐ 防災用ヘルメット	☐ 衣類・下着
☐ 雨具	☐ 靴、靴下	☐ 懐中電灯	☐ 携帯ラジオ
☐ 電池・携帯用充電器	☐ マッチ・ライター	☐ 救急用品	☐ 使い捨てカイロ
☐ ブランケット	☐ 軍手	☐ 洗面用具	☐ タオル、ティッシュ
☐ 筆記用具	☐ 感染症対策用品	☐ 小銭(公衆電話など用)	☐ 生理用品・乳幼児用品

※表はあくまで例ですので、家族構成などに合わせて備えてください。

災害を疑似体験してみませんか？

県総合防災センターでは、風水害などの災害を疑似体験することができます。いつ起こるかわからない災害に備え、リアルな体験を通して、防災について考えてみませんか。

- 【新】タッチパネルに表示される体験内容を選んで行う「新119番通報体験コーナー」
- そのほか「風水害体験コーナー」や「消火体験コーナー」など

☎ 県総合防災センター ☎ 046(227)1700

※自治会などの団体や、個人でのご利用も可能です。

